

島根県の死亡野鳥でA型鳥インフルエンザ簡易検査陽性！

環境省は11月6日、島根県松江市で回収された死亡野鳥(コブハクチョウ)1羽で、簡易検査によりA型鳥インフルエンザウイルス陽性反応が出たことを発表しました。

高病原性鳥インフルエンザ等の確定検査はこれから実施する予定で、結果判明まで数日から1週間程度かかります。

【今回の事例の経緯等】

(1)死亡鳥の確認地点

島根県松江市

(2)経緯

- ・11月5日、コブハクチョウの死亡個体を回収。
- ・島根県において簡易検査を実施したところA型鳥インフルエンザの陽性反応。
- ・同日、回収地点周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定。
- ・鳥取大学で確定検査を実施予定。

※現時点では、簡易検査により陽性が確認されたものであり、病性は未確定、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたわけではありません。また、確定検査の結果、陰性となることもあります。

◆◆◆鶏など家きん飼養者の皆様へ◆◆◆

- 渡り鳥が飛来する季節となりました。
- 本病の発生予防対策の再点検をお願いします。
 - ・防鳥ネットのチェックなど野生動物の家きん舎への侵入防止
 - ・農場の外と内を明確にして、入場時の人・車両などを消毒
 - ・家きん舎出入口で靴底などを消毒
- 鶏など家きんに異常が見られた場合は、すぐに当所まで連絡して下さい。